

希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 28 年 6 月 30 日発行

第 13 号

発行人 校長 鈴木史良

日本の小学生との学習交流

—— スイスの記号、日本の記号をしていますか？ ——

小学3年生の国語（光村版）に「ざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう」という教材があります。“私たちは多くの記号に囲まれて生活しており、それらの記号が何を伝える役割をしているのか、そのためにどんな工夫がされているかを調べる。そして分かったことを文章に書いて友だちと知らせ合おう。”という学習です。本校の小学3年生の在籍はわずか1名。せっかく調べて文章に書いても、知らせ合う相手がいません。そこで担任はこの学習をもっとふくらめようと考えました。そこで発想したのは日本の小学校との交流です。担任の在籍校が小規模小学校で、同じ教科書を使っていたことも幸いでした。その学校に交流を呼びかけると、子どもたちや先生がた、校長先生も賛成してくれました。

た。日本とスイスの記号の違いを見たり比べ合ったりすることで、子どもたちの学習は飛躍的に広がります。お互い異国に暮らす人により分かりやすい文章を書こうとする工夫も生まれることでしょう。こうして、日本の小学生との珍しい学習交流が成立したのです。ここに、本校児童のレポート作品と日本から送られてきた同学年の児童の作品をご紹介します。

日本とスイスの記号の違いを見たり比べ合ったりすることで、子どもたちの学習は飛躍的に広がります。お互い異国に暮らす人により分かりやすい文章を書こうとする工夫も生まれることでしょう。こうして、日本の小学生との珍しい学習交流が成立したのです。ここに、本校児童のレポート作品と日本から送られてきた同学年の児童の作品をご紹介します。

<チューリッヒ日本人学校3年生児童のレポート>

どこの国にも記号はあると思います。では、わたしたちのみのまわりに、どんな記号があるのでしょうか。その記号をさがしに行きました。そして、その記号の意味を調べました。まず、記号の意味をインターネットで調べました。そして記号の意味と絵をノートに書き写しました。それでもわからなかったことは、外に出て本当かどうかを調べたり、先生に聞いたりしました。



①は、学校のろう下の天じょう近くにあった記号です。学校の中から火が出たら、ここのドアからにげてくださいという記号だそうです。絵の右がわは火を表していて、絵の左がわはにげるためのドアを表しています。この記号を見つけたら、その場所をおぼえていてください。火事がおこった時にやくだちます。



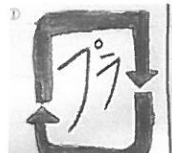
②は道路ひょうしきの一つで、ロータリーの近くにありました。右と左の直線は、道路を表しているそうです。この道路がだんだん細くなっているのは、遠くなっているところを表しています。真ん中のトンネルは、上に車が通れて、下にも車が通れることを表しています。このことから、このひょうしきは、高そく道路を表しています。スイスではアウトバーンといいます。

記号を調べてみて、一つ一つ記号がちがうのでおもしろいと思いました。この記号がなくなると、火事の時、どこからにげればいいのかわからなくなるし、高そく道路にのりたいのに、のれなくなるので、記号は大切だとわかりました。

<兵庫県三木市3年生児童のレポート>

ぼくたちのみのまわりには、たくさんの記号があります。ぼくは、よくみかけるけれどくわしくはしらなかったので、しらべてみたいなと思いました。一どもみたことがなく、めずらしいと思ったものも調べてみたいなあとと思いました。

最初は、パパ、ママ、兄に聞いてみました。知らないことはパソコンでも調べてみました。のっていないことがあったので、それは自分でそうぞうして考えてみました。



①はプラスチックでできたペットボトルなどについていました。まん中に大きく「プラ」と書いてあります。「プラ」のプの方が大きく書かれています。「プラ」のラを見なくてもすぐにプラゴミだとわかるくふうだと思いました。「プラ」と書いてある回りが四角形です。プラゴミは四角の方が多からだと思えます。四角形で矢じるしが二つあります。矢じるしは、リサイクルに出して、また新しいプラスチックを作りましょうという意味をしめしています。



②は三木市のふうとうにありました。形は三角形でした。三木市の形は三角形ににていることに気づきました。三角形の回りに三つの半円がありました。半円は三木じょうのとの様がかぶっていたかぶとだそうです。二つとも絵でわかるようにくふうされていました。よく絵が考えられているなあとと思いました。

三木市の児童も本校の児童も、知らなかったことに興味をもち、自分で調べてレポートにまとめています。細かい所までよく気がついていることに感心しました。スイスのこと、日本のことを互いに伝え合うことができるすばらしい学習になりました。

7、8月の主要予定

ホームページでの公開はしていません。ご了承ください。